

さいとう淳一郎の日々の街頭演説を、紙上でお伝えしています。

次の世代のために・・・

“子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”を目指して
栃木県議会議員

さいとう淳一郎街頭演説レター

第 29 号

発行日 平成 27 年 11 月 5 日

発行者 栃木県議会議員

さいとう淳一郎

〒329-2136 矢板市東町 3006-3

矢板市戦没者慰霊祭を前に

国運を賭した先の大戦におきまして、一身をも顧みず危地に赴かれた尊霊各位が、家族の平安と祖国の安泰とを念じながら、国難に殉じられましたことは、誠に痛恨の極みでございます。

尊霊の貴い犠牲の上に、今、私たちが享受する平和と繁栄がございます。このことを私たちは片時たりとも忘れることはありません。

また、最愛のご家族を失うという筆舌に尽くしがたい悲しみに耐えながら、ご子弟を立派に養育されたご遺族の皆様に対しましても、この場をお借りいたしまして、深甚なる敬意を表するものでございます。

しかしながら、今日の世界情勢に目を向ければ、未だ領土拡張の風潮が根強い中で、テロリズムや核の脅威、そして宗教や民族の違いによる地域紛争は絶えることがありません。

我が国をとりまく国際環境も目まぐるしく変化し、力による現状変更の現実、予断を許さない状況にございまして、安保法制をめぐる議論も盛んに行われております。

先の大戦が終わりを告げてから 70 年もの年月が経過し、戦争を知る、戦争を実体験した世代は今後ますます少なくなってまいります。こうした状況のもとで、私たち戦争を知らない若い世代は、歴史と謙虚に向き合い、その教訓を深く胸に刻みながら、明日を生きる世代のためにも、国の未来をしっかりと切り拓いてまいります。

そして、世界の恒久平和に貢献する一方で、万人が心豊かに暮らせる地域社会の実現に力を尽くしていくことを、尊霊の御前において固くお約束いたします。